

平成24年6月議会

村内の道路は安全は十分か

村内の幹線道路は通勤時間帯になると交通量が多くなります。特に、三福から国道23号に至る農免道路は死亡事故も発生しています。また、県道の交番前交差点は、度々事故が発生しています。この2カ所は通学路になっています。さらに、古政宝珠寺の交差点は毎月のように事故が発生していると聞きます。交通事故を未然に防ぐためにも村内のこういった危険箇所には信号機や歩道橋などの設置ができないか検討願います。

答弁者 村長

交通弱者の安全を確保するよう配慮していく

村内の道路の安全性については、通勤時間帯の幹線道路やこれに接続する村道では、非常に交通量が多くなり、交通弱者の安全を確保することが急務となっています。村としては、平成15年度から8年間で歩道を新たに設置したほか、歩道を設置できない箇所では、通学路を明確にして安全を確保するためのカラー塗装を整備しています。また、朝の通学時間帯には主要な交差点7箇所、夕方の通学時間帯には県道交番前1箇所、それぞれシルバー人材センターによる交通指導と監視を実施しています。

事故を未然に防ぐためには、さらなる施策が必要と考えてはいますが、ある程度は運転者のマナーに頼らざるを得ないのが現状であります。

愛知県蟹江警察署と協力しながら、運転者の安全意識の向上を。また、学校を通じて児童生徒の安全教育にも力を入れるよう村教育委員会に要望していきます。

ハード面でも、歩道の設置やカラー塗装の拡充等、より安全な道路を整備していきます。

信号機については、設置の必要性を総合的に判断した上で、愛知県公安委員会が設置しています。県内で相当数の設置要望がある中で、危険度の高い交差点から順次設置されており、ご指摘の交差点についても、村より設置要望を出していますが、現時点でその実現に至っていません。

村は交通安全の推進のため、愛知県に対して信号機設置予算の増額を要望しているところです。歩道橋の設置については、橋脚の設置場所・設置費用の問題等もあり、横断歩道橋自体、階段等による通行者の負担が多く、バリアフリーの精神、交通弱者優先の精神に反するものであるため設置は考えていません。

今後も交通弱者の安全を確保するよう配慮していきますのでご理解をお願いします。

小学校跡地を活用し駐車場と駐輪場の設置を

跡地検討委員会の答申が出ました。

内容は、小学校跡地は、防災コミュニティセンターの建設、余剰地については、社会情勢を見極めながら村の施策において計画すること、というもので、余剰地の活用方法はなにも決まっていません。

そこで、小学校跡地北側の一部を開放し、駐車場と駐輪場として活用してはどうか。

パーク＆ライドという観点から通勤・通学に飛鳥バスを利用できるようになり有効活用ができる。

地元からも要望があるので是非実現していただきたい。

答弁者 村長

管理上有効と考え前向きに検討していく

小学校跡地の駐車場と駐輪場について、パーク＆ライドは、都市部や観光地で交通渋滞や二酸化炭素排出量の削減といった効果が期待されています。

本村としては、飛島バスの利用者のためにバス停付近に駐輪場を3カ所設け、利用者の利便向上に努めているところです。

小学校の跡地利用は、今後防災コミュニティセンター建設に向け、基本計画策定を進めていきます。

現状は、利用の形態も未定で、北側の一部を駐車場や駐輪場として一時的に整備することについて、管理上有効と考え、前向きに検討します。